

# 安全データシート

EU規定No. 1907/2006に拠る



## RMS1

加工された日付: 07.09.2022

ページ 1 の 11

### 1 化学品及び会社情報

#### 製品識別名

RMS1

物質または混合物の従来から確認された用途、および使用を差し控えるようにアドバイスする用途

#### 用途

洗浄剤

#### 安全データシート作成者の詳細

会社名称: Hottinger Brüel & Kjaer  
街路名: Im Tiefen See 45  
住所: D-64293 Darmstadt  
電話番号: +49 (0)6151 803-0  
インターネット: www.hbm.com  
担当部門: support@hbm.com

警察署・消防署への非常通話番号: +49-30-18412-0

### 2 危険有害性の要約

#### 物質または混合物の分類

##### EC 規制 No. 1272/2008

危険有害性カテゴリー:

引火性液体: 引火性液体 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の刺激. 2

特定標的臓器毒性 (単回ばく露): 特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) 3

危険有害性情報:

引火性の高い液体及び蒸気。

強い眼刺激。

眠気又はめまいのおそれ。

#### ラベル要素

##### EC 規制 No. 1272/2008

#### ラベルに表示されなければならない有害成分

acetone; propan-2-one; propanone

propan-2-ol; isopropyl alcohol; isopropanol

注意喚起語: 危険

#### 危険有害絵文字:



#### 危険有害性情報

H225 引火性の高い液体及び蒸気。  
H319 強い眼刺激。  
H336 眠気又はめまいのおそれ。

## RMS1

加工された日付: 07.09.2022

ページ 2 の 11

## 危険の予防

- P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- P280 保護手袋/防護衣/保護眼鏡/保護面/防音保護具/を着用すること。

## 特別調合剤の例外ラベル

- EUH066 繰り返し曝露すると、皮膚乾燥またはひび割れの発生可能性。  
専門的な使用者に限定。

## Labelling of packages where the contents do not exceed 125 ml

注意喚起語: 危険

危険有害絵文字:



## 他の危険有害性

情報は何もない。

## 3 組成及び成分情報

## 混合物

## 危険有害成分

CAS番号	化学名	数量
	GHS 分類	
67-64-1	acetone; propan-2-one; propanone Flam. Liq. 2, Eye Irrit. 2, STOT SE 3; H225 H319 H336 EUH066	50 - < 55 %
67-63-0	propan-2-ol; isopropyl alcohol; isopropanol Flam. Liq. 2, Eye Irrit. 2, STOT SE 3; H225 H319 H336	50 - < 55 %

HおよびEUH条項の表記: 16章を参照すること。

## SCL、M-factor 及び/又は ATE

CAS番号	EC番号	化学名	数量
		SCL、M-factor 及び/又は ATE	
67-64-1	200-662-2	acetone; propan-2-one; propanone	50 - < 55 %
		吸入: LC50(50%致死濃度) = 76 mg/l (蒸気); 経皮: LD50(50%致死量) = 20000 mg/kg; 経口: LD50(50%致死量) = 5800 mg/kg	

## 詳しい情報

情報は何もない。

## 4 応急措置

## 必要な応急手当の記述

## 一般情報

当事者を、危険区域から連れ出し、寝かせること。意識不明だが呼吸している場合には、回復体位を取らせる  
と共に医学的助言を仰ぐこと。応急処置: 自己防護に留意すること!

## RMS1

加工された日付: 07.09.2022

ページ 3 の 11

**吸い込んだ後に**

疑わしい場合は必ず、または、症状が現れている場合は、医師に相談すること。

新鮮な空気を入れること。

気道に刺激がある場合は、医者にかかること。

**皮膚に付着した後に**

皮膚に触れた場合、直ちに多量の水 かつ せっけんで洗い流すこと。汚れが付着し、濡れた衣服は、直ちに脱衣すること。皮膚に刺激がある場合は、医者にかかること。

**目に付着した後に**

眼に触れたときは、直ちに、瞼を開けた状態で10～15 minの間、眼を流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。

**葛下後**

直ちに口をすすぎ、たくさんの水を飲むこと。被災者が意識不明かまたは痙攣症状がある場合は、決して口から物を与えないこと、無理に吐かせないこと。

**最も重要な症状および作用、急性および後発性**

情報は何もない。

**緊急治療および特別処置が必要な兆候**

情報は何もない。

**5 火災時の措置****消火剤****適切な消火剤**

水のジェット噴霧, 乾式消化剤, 泡

**使ってはならない消火剤**

棒状注水

**物質または混合物特有の危険有害性**

高い可燃性。

蒸気は、空気とともに爆発性の混合物を形成し得る。

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。- 禁煙。

**消防士のための事前注意事項**

自給式呼吸器具及び化学防護服を着用すること。

消火対策を、周辺地域に適合するよう調整すること。

**追加の指摘**

危険区域では、従事者の保護と容器冷却のため、水を霧状に噴射すること。ガス/蒸気/霧は、水を霧状に噴射して沈降させること。汚染された消火用水は、分別して回収すること。排水管や自然水系に流入させないこと。

**6 漏出時の措置****人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置****全般的な注意事項**

すべての発火源を除去すること。十分に換気をすること。ガス/煙/蒸気/エアロゾルを吸い込まないこと。皮膚、眼、衣服との接触を避けること。個人用の保護具を使用すること。個人用の保護具を使用すること。下

## RMS1

加工された日付: 07.09.2022

ページ 4 の 11

水道、あるいは自然水系に流入させないこと。その受け入れた物質は、廃棄物処理の章に従って、取り扱うこと。十分に換気をする。

**環境に対する予防措置**

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。  
製品は、検査せずに環境中に放出してはならない。

**封じ込めおよび浄化方法と機材****その他参考となる事項**

機械で拾い上げ、適切な容器に入れて、処理に持っていくこと。液体を凝固させる材質（砂、珪藻土、酸結合剤、万能接着剤）を用いて、取り除くこと。

**他のセクションを参照**

安全取扱い: 参照箇所 節 7  
個人用保護具: 参照箇所 節 8  
廃棄物処理: 参照箇所 節 13

**7 取扱い及び保管上の注意****安全な取扱いのための予防措置****安全取扱い注意事項**

一ヶ所での吸引が不可能もしくは不十分ならば、可能な限り作業区域の換気をよくすることが、保障されるべきである。

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。- 禁煙。

**火災および爆発防護に関するアドバイス**

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。- 禁煙。換気が不十分な場合および/あるいは使用することにより、爆発性の/発火しやすい混合物発生可能性がある。

**扱いに関する追加情報**

人身用防護装備を身に付けること (第8章を参照)。下水道に流入させないこと。職場では、飲食、喫煙、鼻をかむことはしないこと。

**配合禁忌等、安全な保管条件****倉庫と容器の需要**

容器は密閉し、換気のよい場所で保管すること。  
下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。  
製品は、検査せずに環境中に放出してはならない。

**共同貯蔵に関する注意事項**

(以下のもの)と一緒に貯蔵してはならない: 酸化剤、濃い、引火性物質、急性毒性区分1および区分2/非常に有毒な物質 非引火性物質、急性毒性区分1および区分2/非常に有毒な物質

**保管状態に関する追加情報**

容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。

**8 ばく露防止及び保護措置****管理パラメーター**

# 安全データシート

EU規定No. 1907/2006に拠る



## RMS1

加工された日付: 07.09.2022

ページ 5 の 11

### 物質の許容濃度 (日本産業衛生学会)

CAS番号	物質名	ppm	mg/m <sup>3</sup>	繊維/ml	範疇	起源
67-64-1	アセトン; Acetone	200	470		許容濃度	
67-63-0	イソプロピルアルコール; Isopropyl alcohol	400	980		最大許容濃度	

### 生物学的許容値 (日本産業衛生学会)

CAS番号	物質名	物質	生物学的許容値	試料	試料採取時期
67-64-1	アセトン; Acetone	アセトン	40 mg/l	尿	作業終了前2時間以内

### 極限值に関する追加説明

情報は何も無い。

### 曝露防止



### 適切な工学的制御

包装していない製品を取り扱う際は、できる限り局所吸引を備えた装置を使用しなければならない。

使用の際、爆発性の/発火しやすい蒸気-空気-混合物発生可能性がある。

防爆型の電気機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

### 保護・衛生対策

作業時には、飲食をしてはならない。

ガス/煙/蒸気/エアロゾルを吸い込まないこと。

皮膚に接触した場合、汚れて濡れた衣服を直ちに脱いで、多量の水とせっけんで洗い流すこと。

適切な保護衣/保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

皮膚を保護するための計画を作成し、遵守すること！

### 眼/顔面用の保護具

保護めがね/顔面保護具を着用すること。

### 手の保護具

化学物質を取り扱う際には、4桁の検査番号を含むCE表示のついた化学物質用保護手袋に限り、着用しなければならない。EN ISO 374

化学物質用保護手袋は、職場で扱う危険物質の濃度や量に応じて、適したものを選ばなければならない。

手袋の材質の厚さ:  $\geq 0,7\text{mm}$

適切な手袋の種類 NBR (ニトリルゴム)

破過時間:  $>480\text{ min}$

前述した保護手袋を特別な用途に使用する場合、手袋の製造者に、化学物質耐性について確認することが望ましい。

## RMS1

加工された日付: 07.09.2022

ページ 6 の 11

**皮膚の保護**

使用した作業服は、作業場所の外で着用するべきではない。

作業服は分けて保管すること。

靴および作業着は、帯電防止加工のものを着用すること。

**呼吸器の保護**

技術的な吸引または換気対策が、不可能もしくは不十分ならば、呼吸保護具を着用しなければならない。呼吸

保護具 AX

**環境における露出管理**

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。

その製品の蒸気は空気よりも重いので、床の上、坑、下水道や地下室の中に、高濃度で溜まり得る。

**9 物理的及び化学的性質****基礎物理および化学特性の情報**

物質の状態:	液体の
色:	無色
臭い:	溶剤
pH値:	確定されていない

**状態の変化**

融点/融解範囲:	確定されていない
沸点また初留沸点及び沸騰範囲:	56 °C
昇華点:	確定されていない
軟化点:	確定されていない
流動点:	確定されていない
確定されていない:	
引火点:	< -20 °C
可燃性の継続:	データなし

**引火性**

固体/液体の:	確定されていない
ガス:	確定されていない

**爆発特性**

使用の際、爆発性の/発火しやすい蒸気-空気-混合物発生の可能性がある。

爆発下限:	2 体積%
爆発上限:	14,3 体積%
発火点:	425 °C

**自然発火温度**

固体:	確定されていない
ガス:	確定されていない
分解温度:	確定されていない

**酸化特性**

確定されていない

## RMS1

加工された日付: 07.09.2022

ページ 7 の 11

蒸気圧: (で 20 °C)	246 hPa
蒸気圧: (で 50 °C)	814 hPa
密度 (で 20 °C):	0,79 g/cm <sup>3</sup>
仮比重:	確定されていない
水溶性:	確定されていない
<b>溶媒に対する溶解性</b> 確定されていない	
n-オクタノール/水分係数:	確定されていない
絶対粘度:	確定されていない
動粘度:	確定されていない
流出時間:	確定されていない
相対蒸気密度:	確定されていない
蒸発速度:	確定されていない
溶剤分離試験:	確定されていない
溶剤の成分:	100,00 %
<b>その他の情報</b>	
固形分濃度:	確定されていない

## 10 安定性及び反応性

**反応性**

情報は何もない。

**化学的安定性**

この物質は、推奨される保存条件、使用条件、温度条件の下では化学的に安定である。

**危険有害反応性の可能性**

規定に従って取扱い及び貯蔵される場合、有害反応はない。

**避けるべき条件**

情報は何もない。

**不適合物質**

情報は何もない。

**危険有害性のある分解生成物**

情報は何もない。

**詳しい情報**

情報は何もない。

## 11 有害性情報

**毒性情報**

安全データシート

EU規定No. 1907/2006に拠る



RMS1

加工された日付: 07.09.2022

ページ 8 の 11

急性毒性

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

CAS番号	化学名				
	曝露の経路	投与量	種	源泉、出典	方法
67-64-1	acetone; propan-2-one; propanone				
	経口の	LD50(50%致死量) 5800 mg/kg	ネズミ	RTECS	
	皮膚の	LD50(50%致死量) 20000 mg/kg	イエウサギ	IUCLID	
	吸い込んで (4 h) 蒸気	LC50(50%致死濃度) 76 mg/l	ネズミ		

刺激性及び腐食性

強い眼刺激。

皮膚腐食性/刺激性: 入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

感作性影響

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

生殖における発ガン性/変異原性/有毒性の影響

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

特定標的臓器毒性 (単回暴露)

眠気又はめまいのおそれ。(acetone; propan-2-one; propanone; propan-2-ol; isopropyl alcohol; isopropanol)

特定標的臓器毒性 (反復暴露)

繰り返し曝露すると、皮膚乾燥またはひび割れの発生可能性。

吸引力呼吸器有害性

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

動物実験における具体的な結果

情報は何もない。

テストに関するその他のインフォメーション

情報は何もない。

実務での験

情報は何もない。

詳しい情報

情報は何もない。

12 環境影響情報

毒性

## 安全データシート

EU規定No. 1907/2006に拠る



## RMS1

加工された日付: 07.09.2022

ページ 9 の 11

CAS番号	化学名					
	水生有毒	投与量	[h]   [d]	種	源泉、出典	方法
67-64-1	acetone; propan-2-one; propanone					
	急性魚毒性	LC50(50%致死濃度) 5540 mg/l	96 h	Onchorhynchus mykiss		
	ミジンコ毒性	EC50 6100 mg/l	48 h	Daphnia magna		

## 残留性と分解性

情報は何もない。

## 生物蓄積性

情報は何もない。

## n-オクタノール/水分配係数

CAS番号	化学名	Log Pow
67-64-1	acetone; propan-2-one; propanone	-0,24

## 土壌中の移動度

情報は何もない。

## その他の有害な影響

情報は何もない。

## 13 廃棄上の注意

## 廃棄物処理方法

## 廃棄の勧告

廃棄物は該当法規に従って廃棄すること。

## 14 輸送上の注意

## 海上輸送 (IMDG)

## UN番号:

UN 1993

## 正式の国連輸送名:

FLAMMABLE LIQUID, N.O.S.  
(acetone, isopropanol mixture)

## 輸送における危険有害性クラス:

3

## 包装等級 (PG):

II

## 危険物ラベル:

3



## 特別な設備:

274

## 量制限:

1 L

## 微量:

E2

## EmS:

F-E, S-E

## 安全データシート

EU規定No. 1907/2006に拠る



## RMS1

加工された日付: 07.09.2022

ページ 10 の 11

## 空輸 (ICAO-TI/IATA-DGR)

UN番号:	UN 1993
正式の国連輸送名:	FLAMMABLE LIQUID, N.O.S. (acetone, isopropanol mixture)
輸送における危険有害性クラス:	3
包装等級 (PG):	II
危険物ラベル:	3
特別な設備:	A3
量制限-乗客:	1 L
Passenger LQ:	Y341
微量:	E2
IATA梱包方指示-乗客:	353
IATA最大数量-乗客:	5 L
IATA梱包指示 (貨物機):	364
IATA最大数量 (貨物機):	60 L



## 環境危険有害性

環境に有害である: いいえ

## MARPOL 73/78 の付属文書 II および IBC Code に準拠するバルク輸送

IBCコードによるばら積み輸送を行ってはならない。

## 15 適用法令

## 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

## 国内規定情報

従業員制限: 若年層への従業員制限に注意する。  
妊婦及び授乳中の母親の従業員制限に注意する。

水に与える有害性等級 (ドイツ): 1 - 水の汚染力は弱い

## 16 その他の情報

## 変更

このデータシートは次の項目の以前のバージョンからの変更を含んでいる: 8.

## GHSによる混合物の等級分類および適用した評価法

分類	分類方法
Flam. Liq. 2; H225	試験データを基にした
Eye Irrit. 2; H319	算出方法
STOT SE 3; H336	算出方法

# 安全データシート

EU規定No. 1907/2006に拠る



## RMS1

加工された日付: 07.09.2022

ページ 11 の 11

### HおよびEUH条項の表記(番号および全文)

H225	引火性の高い液体及び蒸気。
H319	強い眼刺激。
H336	眠気又はめまいのおそれ。
EUH066	繰り返し曝露すると、皮膚乾燥またはひび割れの発生可能性。

(危険成分に関するデータは、事前供給者からの最新の安全データシートから取得されました。)